

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

社業を発展させ株主及び関係者各位の付託と理解に応え、社員と喜びを共にする。倫理を重んじ社会・顧客に貢献する。進取創造の気風を養い未来に挑戦する。

売上高
400.0億円

営業利益率
5%

ROE
8%

配当性向
30%以上

② 中長期の経営戦略

1. 新事業・製品の拡大

新しい事業・製品に向けた投資の拡大。交通事業での脱炭素化・省力化機器への需要対応、産業事業での自動車電動化対応、ICTソリューション事業の領域拡大を推進。

3. 資産効率の改善

資本コストを意識した資産効率の改善。政策保有株式縮減の継続と運転資本の圧縮によるバランスシート改善を実施。

2. 既存事業の収益体質改善

営業強化による受注の拡大と既存事業の徹底した収益体質の改善を進め、持続的な成長基盤を強化。

4. PBR改善による企業価値向上

ROE維持向上、期待成長率の向上、株主還元の充実により、PBRの改善を図る。

③ 対処すべき課題

① 収益力の強化

- ・交通事業での脱炭素化・省力化ニーズへの対応と海外での継続受注確保
- ・産業事業での米国関税措置・中国レアアース輸出規制の影響を注視しつつ受注活動を推進
- ・自動車電動化開発に向けた試験機受注拡大と設備更新需要への対応

② 資産効率の改善

- ・政策保有株式の縮減継続
- ・運転資本の圧縮によるバランスシート改善

③ ICTソリューション領域の拡大

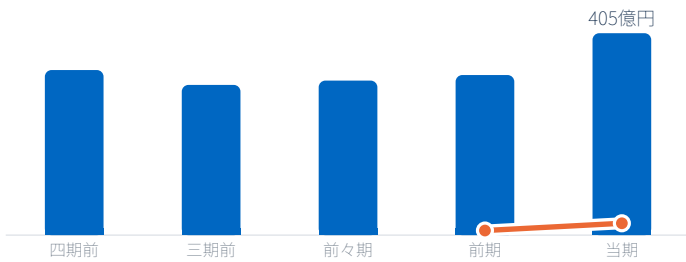
- ・キャッシュレス化・チケットレス化対応の駅務機器システム開発
- ・移動体・設備施設の監視制御向けクラウド型遠隔監視システム開発

面接で使えるポイント

- ・創業100年以上、時代のニーズに対応しながら技術を活かした高品質な製品・サービスをグローバルに提供し続けている背景と強み…
- ・2025年5月期に中期経営計画2026の数値目標を1年前倒しで達成しながら…
- ・脱炭素化・電動化・キャッシュレス化など社会課題解決に向けた新事業・製品開発に注力する経営戦略。

証券コード 6505

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
405億円営業利益率
5.9%財務健康度
43点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 50.5（当サイト算出の参考指標）

平均年収
617万円

電気機器内 176位/225社

平均年齢
43.1歳

電気機器内 115位/225社

平均勤続
17.1年

電気機器内 78位/225社

女性管理職
2.2%

電気機器内 156位/182社

男性育休
62.5%

電気機器内 133位/171社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

